

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 519 2016.06 >

BULLETIN

2015年7月～2016年6月



国際会長 【Mission with Faith:信念のあるミッション】Wichan Boonmapajorn(タイ)
アジア会長 【Through Love Serve:愛を持って奉仕をしよう】Edward K W Ong(シンガポール)
東日本区理事 【原点に立って、未来へステップ】渡辺 隆理事(甲府クラブ)
関東東部部長 【チェンジ】鈴木雅博部長(東京江東クラブ)
クラブ会長 【皆仲良く 楽しく 奉仕を】青木方枝 東京グリーンクラブ会長

会 長 青木 方枝
副 会 長 西澤 紘一
副 会 長 目黒 卓
書 記 布上征一郎
会 計 柿沼 敬喜
会計補佐 平林 正子
担当主事 花井 雅男

6月 ペンテコステ、教会の誕生

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。」
(使徒言行録2:1-4)

＜神さまはこの時以来、聖霊をもって一人一人に生きる力を与えて下さっています。＞

2016年6月 第一例会

日時:2016年6月15日(水) 18:30～20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 2階
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931
受付:浅見(隆)君/司会:柿沼君

開会点鐘	青木会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	古 平 君
ゲスト・ビジター紹介	青木会長
食 事	ニコニコ献金

メンバー・スピーチ 全 員
～今期を振り返って/2分スピーチを～

各委員会報告	各事業委員長
Happy Birthday<6月古平メン1名>	
YMCA 情報	花 井 君
ドライバー	浅見ク君
閉会点鐘	青木会長

5月ゲストスピーカー、伊藤剛士さんの「石巻の5年間」のご苦労が新クラブ誕生へと結実したと考えています。特別寄稿掲載。

～クラブ会長を二期務めて～

2015-16 クラブ会長 青木方枝

浅見直前会長の「親睦なくして奉仕はない」の精神を引き継ぎ私は「皆仲良く楽しく奉仕を」を主題に掲げ、2期会長を務めさせていただきました。この2年間にはいろいろな事があり、変化がありました。

我がクラブの重鎮でいらした上谷喜謙メン、林福松メンを失い、とても悲しい思いを…。でもクラブCS事業でいつもお世話になっている「三浦屋」さん社長新倉健司メンの入会という嬉しいこともありました。また、担当主事も倉島君から小野実君、花井雅男君へと代わり、残念ですが仕事の都合で休会が2人という事態も…。

クリスマスは合同で出来ませんでした。今年の新年例会は、いつも仲良くしているひがしクラブ、北クラブと3クラブ合同で行うことが出来、さらに他クラブからの参加もあり、大勢で「江戸芸・かつぼれ」を見学しながら楽しい時を過ごすことができました。良い思い出です！

私事ですが主人が去年6月より入院、手術、病院通いと、立て続けに重なり、クラブの方がややおろそかになってしまいました。しかし、皆様のご協力とご支援で何とか無事終えることが出来そうです。心より感謝申し上げます。2年間ありがとうございました。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 13/16 82%

出席:5月例会(グリーンメン 11名、メネット 1名 ゲスト1名)計 13名

【ニコニコ】 5月例会 12,500円 累計 131,100円

＜2016年5月 例会報告＞

日時:2016年5月18日(水)18:30～20:30

場所:千代田区和泉橋区民館 2階

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・稲垣・柿沼

古平・佐野・西澤・布上(征)・花井

平林・(メット)布上(信)

ゲストスピーカー:伊藤剛士氏

今月のゲストスピーカーは東京 YMCA 山手コミュニティーセンターの伊藤剛士氏。2012 年より宮城県石巻市にある YMCA 石巻支援センターでボランティアコーディネーターとして従事され、5年間奮闘されました。以下、ご本人から「特別寄稿」を頂きましたので掲載いたします。



伊藤剛士さんのレポート「石巻の5年間」

2011 年秋に開設された宮城県石巻市の災害ボランティアセンター「YMCA 石巻支援センター」は、今春より主管が仙台 YMCA に移管されました。2011 年からの 5 年間で受け入れたボランティアはのべ約 3,400 名、活動受益者は約 23,000 名になります。これは数字だけ見ると多くないかもしれませんが、それは被災地における YMCA の活動は、瓦礫撤去といった作業にとどまらず、子どもたちや高齢者のための心身のケアのプログラムを、顔の見える関係の中で丁寧におこなってきたからでもあります。石巻市立石巻小学校でのプール指導、学習支援プログラム、また仮設住宅や高齢者施設での YMCA 歌の広場といったプログラムは、東京をはじめ全国の YMCA で活躍をしているリーダー・ワイズ・会員といった専門性のあるボランティアによるものであり、被災地においても学校・行政・地域自治会から高い評価を頂きました。



青木会長より御礼を

＜2016年5月 第二例会報告＞

日時:2016年5月11日(水)18:30～20:30

場所:千代田区和泉橋区民館 4階

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・稲垣・柿沼・布上・花井

報告・連絡事項(5月ブリテン掲載)

*4月14日(木)第26回東京YMCAチャリティーゴルフ

*4月16日(土)関東東部第3回評議会

*4月23日(月)大沼謙一先生 感謝会

*次期2016-2017年度クラブキャビネット決定

会長:浅見隆夫/書記:目黒卓/会計:平林正子

監事:柿沼敬喜/聖句・祈禱 古平光市/ブリテン

担当:布上征一郎/神田川船の会実行委員長:稲垣

勝啓/地域奉仕委員長(浅見隆夫)/会員増強委員

長(佐野守)/国際・交流委員長(布上)/副会長兼ユース

委員長(西澤紘一)/プログラム委員長(目黒)

審議・協議事項

*5月14日(土)第73回神田川船の会 催行

*5月21日(土)横浜つづきクラブ10周年記念例会

*5月22日(日)仮称:東京多摩みなみクラブ設立総会

チャーターナイトは7月17日(日)同会場にて

*5月28日(土)東京YMCA会員大会(東陽町)

*5月28日(土)石巻広域クラブチャーターナイト

*6月3日(金)田園調布学園乗船会 和泉橋より

*6月4日(土)～5日(日)第19回東日本区大会

*6月25日(土)第19回東京YMCA会員芸術祭式典

*7月23日(土)第1回関東東部評議会 東陽町13時

*8月4日～7日 第72回国際大会 台湾・台北開催

(布上 記)

その被災地における「顔の見える関係」の中で様々な御縁があり、2016年5月28日に「石巻広域ワイズメンズクラブ」が晴れてチャーターを迎えました。初代会長は、石巻YMCAのテナントオーナーでもあり、石巻の銘酒日高見の会長でもある平井孝次郎氏。平井氏の協力無くしては石巻の地でのこれほどのYMCAの支援活動が展開できなかったと言っても過言ではありません。またチャーターメンバーには、地元の小学校の元教員、社協職員、福祉施設職員、NPO職員、仙台YMCAリーダーOB、仮設住宅元住人、といったYMCAの支援活動の中で出会った方々が大半いらっしゃいます。YMCAによって連なった地元の方々が、今後もYMCAをサポートするためにワイズメンズクラブとして名乗りを挙げていただいたことに、深く感謝申し上げます。ともにこれ以上なく頼もしいことだと思っています。

震災より5年がたち、特に昨年からは仮設住宅を出られ復興住宅や再建した家に引っ越される動きがピークを迎えました。一見すれば段々落ち着いてきたようにも思える被災地ですが、そこでは集団移転によるコミュニティ再形成や過疎化・高齢化が進む地域など、新たな問題が多く生じてきています。孤独や不安を感じる方々に対して、ボランティアの訪問は大きな励ましとなります。そこで大切なのは、遠方から訪問するボランティアと地元住民を繋ぐ、地元コーディネーターの存在です。石巻広域ワイズメンズクラブの皆様には、今後も全国のYMCA・ワイズメンズクラブと石巻地域の架け橋となって頂き、ともに心の交流を続けてまいりたいと思います。(伊藤剛士 記)

風薫る初夏の風物詩『(第73回)神田川船の会』開催!

さる5月14日(土曜)、浅草橋の船宿・三浦屋「粋人丸」をはじめ4艘の周遊船が船団を組んで、神田川・日本橋川・隅田川・小名木川など東京下町河川を巡る恒例の神田川船の会が行われました。春と秋の年2回開催で足かけ37年、通算73回を迎えましたが、今回はこの舟遊イベントを長年牽引してきた林福松さんが昨年末に急逝されてから初めての開催となり、さらにサポートの中心メンバーが体調不良で欠席という不安要素も重なり、つまりは残ったメンバーたちの実行力が試されることになりました。

しかし、そういう不安を一掃したのが東京YMCAの皆さん、明治大学から参加してくれたボランティアスタッフの皆さん、そして我が東京グリーンクラブのワイズメンたちでした。彼らの声かけにより各地のワイズメンや友人たち、仕事関係やご近所の仲間たち、そして神田川船の会が大好きなリピーターたちが多数乗船し、本会の支援企業関係者の皆さん、千代田区・中央区・江東区の親子学習ご招待の皆様などで午前便も午後便も共に4艘合計150人の満員状態。林福松さんがいつも自慢していた「神田川船の会の日はず晴れる」、いわゆる「福松晴れ」にも恵まれ、快適かつ安全な船の会をお客様はもちろん参加者全員で楽しむことができました。

船の会の実務に精通した花井主事が久しぶりにカムバック、そして東京YMCAの沖さん・寒川さん・綿引さん、さらにはグランチャ東雲からは加藤さんや新藤さんのご協力もあり、われわれ東京グリーン神田川船の会やサポーターの面々19人との絶妙なコラボレーションが展開されました。

中でもクリーンヒットは花井主事による大学生たちへの声かけ。これに反応し、明治大学から学生ボランティアが手伝いに来てくれました。集合写真の最前列左にいる若者たちです。われわれの活動目的の1つ、それは未来を生きる子供たちや若い人々に江戸東京の歴史文化を語り継ぎ、河川親水環境の浄化について共に考え学ぶこと。そのはじめの一步は若い人々と共に協働することですが、そのきっかけを花井主事が作ってくれました。いつもわれわれのイベントに棧橋を開放していただき、運営オペレーションを見守ってくれている東京水辺ラインのご担当が「いいですねえ。若い人が楽しそうに参加している。うちも参考になりますよ」と言ってくれました。嬉しい話ですね。

いつもと同様に「神田川船の会/乗船記念煎餅」も70セットをご用意し、完売しました。そして益金のすべてを東京YMCAを通じて熊本地震被災者支援金として活用していただくことに。継続的な社会貢献ができるCS(地域奉仕)事業として、神田川船の会がさらに充実して行くためには多くの方々のご理解ご協力、そしてベテランたちと次代を担う人たちの連携が不可欠です。

今後ともなお一層のご支援をお願い申し上げます。

(神田川船の会実行委員長 稲垣勝啓 記)



横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ 設立10周年記念例会 報告

国際協会加盟認証状を取り持つ縁でお誘いを受けた標記例会に新幹線「こだま」で喜んで駆けつけました。新富士駅で利根川恵子次期理事、井上修三・大関靖二(もりおかクラブ)、山田敏明(十勝クラブ)の各メンと再会、YMCA 送迎車に乗り込み富士山YMCAに向かいました。開設当時は何度も伺いましたが最近のご無沙汰、外観はあまり変わりませんでしたが室内は良く整備され綺麗で、使い勝手が大変良さそうでした。

第一部記念例会は肅々と、第二部記念シンポジウムは山添訓コーディネーター、パネラーに村井伸夫仙台YMCA総主事、濱塚有史盛岡YMCA総主事が東日本大震災後5年経過の支援の取り組みに熱弁をふるいました。

体験談として小川圭一(東京世田谷クラブ)メンより被災者の気持ちに寄り添う選曲を心がけたこと、歌の広場開催中に地震の揺れを感じたが「月の砂漠」を歌い切り、参加者の動揺が鎮まったことが話された。

井上修三メンは、先ず身の安全を確保するため安全な高地に逃げることの重要性を話され、大関靖二メンは①公共の施設建造物の耐震性を高める②通電火災への警告や対処方法の徹底③復興の拠点作りの肝要を話された。

私個人としても、つづきクラブの方々の山元町「みやま荘」・「南保育園」訪問支援活動に同行させていただき、身近に震災を体験された方々のお話を伺え感銘をうけた。第三部BBQパーティーは第二部の重苦しい雰囲気から一転し、明るく楽しく和気藹藹のうちに適度のアルコールと美味しいお肉、山田敏明メンが十勝からわざわざ5kg生食出来る「紫アスパラ」を差し入れて、一気に座は盛り上がりました。



日帰り組は帰路新幹線の時刻を気にしながら立派な10年史誌を手にとり、これからも益々活発なワイズ活動を継続されるよう祈念して会場を後にしました。

チャーター10周年オメデトウございました。(浅見 T 記)

(仮)東京多摩みなみクラブ設立総会に参加して

多摩センター駅でお出迎えの谷治メンのご案内に従い栗本次次期理事とコンテニー多摩センターへ向かう。会員制クラブ施設特有の雰囲気に包まれた素晴らしい会場であった。参加者67名、設立総会独特の華やかさの中にも緊張感が漂い、田中博之メンのテキパキとした司会でセレモニーが進められました。伊藤幾夫準備委員長の経過報告に両メンの熱意と苦労がうかがえました。

懇親会では、なるべく新会員になれる方とお話するよう心がけましたが、多士済々でワイズ活動の理解が深まるチャーター後の活躍が楽しみな方々でした。

チャーターナイトは7月17日が予定されています。是非大挙して祝福にうかがいたいですね! (浅見 T 記)

フリテン図書室

第29回 三浦綾子の初期本を見る

「氷点」三浦綾子(朝日新聞社)昭和40年(1965年)
「続氷点」三浦綾子(朝日新聞社)昭和45年(1970年)



清く正しく生き、誰にも後ろ指をさされない人生でも、自分自身ではどうしようもない罪を負うことがある。医師辻口啓造は、ある日妻夏枝が医師村井と密会している最中、外に出された娘ルリ子が殺されたことを知る。嫉妬に狂う啓造は、復讐として犯人の娘を養女として迎え、夏枝に育てさせる。ある時、その真相を知った夏枝は、徹底して陽子をいじめる。最後に夏枝は、陽子の出生の

秘密を陽子の恋人北原の前で暴露する。あまりのショックに陽子は自殺を図った。「すべてを許してくれる大きな権威が欲しい」と遺書に書き残して。しかし実際は、殺人犯佐石の子で無く出征亭主を待つ主婦、三井恵子の不倫の子であることを高木が打ち明ける。犯人の娘ではないことが分かり夏枝をはじめ周囲はほっとする。この結末から続編が始まる。

夏枝は、陽子を自殺に追いやった言動を反省はするが、時々悔しさが出てきて啓造を責める。人間としての反省や許しは、神の前での真実の懺悔とは根本的に異なる。一方、陽子も自分の生母である恵子を最後まで許せない。夫の出征中になぜ不倫をしたのか？そして自分を生んだのか？しかも夫や子供に内緒で孤児院に捨てたのか？陽子は、恵子を母親としても人間として許せない気持ちが消えることはなかった。一方啓造は、妻夏枝のひとつきの村井との情事が何時までも許せない。その結果、夏江に対する残酷な復讐を実行したが、心の中では申し訳なかったと思っている。自殺未遂に終わった陽子の人生の再出発からはじまるが、この事件ですっかり参った夏枝は何事も無かったように過ごす。高木の母の葬儀に際して、三井恵子が参列したことから悲劇が起こる。恵子が陽子にあまりにも似ていることから陽子の兄徹が疑問を抱き、小樽の恵子を探し当てる。やがて恵子のことは啓造、夏枝も知るところとなり、真実を明かすことは三井一家の崩壊につながるため陽子や三井の夫や子供たちに伏せることを約す。しかし、無頓着な村井が三井家に打ち明けてしまう。しかし、妻の不倫を知りながら恵子の夫三井弥吉は、全てを許し何事も無かったように一家を支えてきたのであった。

最後、陽子は、網走の海に射す夕日が醸し出す炎の流水群にイエスの流した血を見る。そして、恵子に対する許しの心が芽生え、許す気持ちが湧いてくる。その時、陽子は教会で聞いた「罪のない者がまずこの女(姦淫)に石を投げつけるがよい」と語ったイエスの言葉を思い出した。50年余昔の本であるが、人間の愛憎、どうしようもない心の底にある嫉妬心(これが原罪か?)に今読んで感動を感じる。(西澤 紘一 記)

YMCA コーナー

▼ 感謝

株式会社木村洋行より熊本地震緊急支援募金として5,000,000円のご寄付をいただきました。西東京60年記念会実行委員会の皆様より記念会の益金の全額141,316円を熊本地震緊急支援募金としてご寄付いただきました。

▼ 4月14日から熊本県で発生している連続地震を受け、東京YMCAは、熊本YMCAが指定管理として運営する「御船町スポーツセンター」に4月19日よりスタッフの派遣を開始し、6月1日現在までに8名を交代で派遣。今後も継続を予定している。5月14日、現地から戻ってきたスタッフによる報告会を開催。また、これまでに計8回にわたって街頭募金を実施し、延べ145人が街頭に立ち、約50万円の募金が寄せられている。他にも企業や個人からのご協力により、6月1日現在の募金額は約700万円となっている。

▼ 5月28日、「第14回会員大会」が開催され、会員・職員など134名が東陽町センターに集った。2015年度の事業報告、中期計画経過報告、会員部活動報告、会員部運営委員の選出に続き、名誉会員として青鹿博明氏が推挙された。ボランティア・オブ・ザ・イヤーには、江東区の小学校の校長を歴任されながら、YMCAと地域の橋渡し、関係づくりに大きく貢献された大沼謙一先生と教員仲間の皆様が受賞。大沼先生からは、第2部に「子どもたちの未来が輝くために」と題してご講演もいただいた。第3部は、恒例のサイレントオークション(売上117,100円)他、食事やジャズ演奏、キャンプソング等を楽しむ和やかな交流のときとなった。

▼ 今後の主な行事日程

- 6月18日～19日 同盟協議会(東山荘)
- 6月27日～7月2日 会員芸術祭(東陽町センター)
- 7月14日 賛助会年会・アドバイザー会(学士会館)
- 8月27日 東京YMCA 夏祭り(東陽町センター)
- 9月22日 第30回チャリティーラン(木場公園)
(担当主事 花井 雅男 記)

Happy Birthday

6月 古平光市(メン)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
京葉銀行・こてはし台支店(普通6614121)
東京グリーンワイズメンズクラブ 会計柿沼敬喜

～今期、皆様のご協力を頂きありがとうございました～
